

2016年第2回日本語能力試験、応募状況のお知らせ 応募者総数48万人 うち海外は前年度同試験回比、3万5000人増加！

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、12月4日(日)に、海外69の国・地域、217都市において、日本語能力試験(JLPT)を実施します。この試験は、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験としては世界最大規模のもので、年2回実施されています。今年で32年目を迎え、試験を実施する国・都市も年々増加しており、昨年同時期の試験と比べて、海外では3万5000人、日本国内でも3万6000人も応募者が増えました。特に海外では、昨年に引き続き東南アジアでの増加が目覚しく(23%)、また最大規模の実施国である中国、韓国をはじめ、東アジア全体でも例年以上に増加(7%)するなど、関心の高さが伺えます。

■ 2016年第2回(12月)日本語能力試験の概要

- 【実施日】 2016年12月4日(日)
- 【実施都市】 海外69の国・地域、217都市、日本国内45都道府県
* 国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施
- 【応募者数】 約48万人(海外 約33万人/日本国内 約15万人)
- 【実施レベル】 N1～N5の5レベル (N1が最も難易度の高いレベル)
* レベル毎の認定(合格)の目安および詳細は、ウェブサイト(<http://www.jlpt.jp>)をご覧ください。

■ 海外の応募者数

33万1,445人 2015年第2回試験より海外全体で**12%増加** 東南アジアでは**23%増加**
応募者数の上位3か国・地域および著しく増加率の高かった3か国は以下の表のとおりです。

	国・地域		応募者数(人)	前年比増
	順位	国・地域		
応募者数上位3か国・地域	1位	中国	106,836	7%
	2位	韓国	41,120	11%
	3位	台湾	41,113	2%
その他、増加率の高い国	フィリピン		6,982	62%
	インド		8,743	61%
	ミャンマー		10,586	47%

■ 試験結果の活用例

- ・「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」でのポイント付与
- ・厚生労働省所轄の医師国家試験、准看護師試験等の受験資格認定
- ・EPA(経済連携協定)に基づく看護師・介護福祉士候補者選定の条件

●本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 日本語試験センター(担当:安藤)

Tel: 03-5367-1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

●ご取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金 コミュニケーションセンター(担当:伊藤、森)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp